

社会の指標となる『統計調査』 学んでみませんか？

10月18日は国が定める「統計の日」です。生活の実態を把握し、よりよい社会を築くための材料として欠かせない「統計調査」を特集します。

問 市政情報課統計担当
☎ 5091

数字の先に映し出せ
新たな時代 僕らの未来

▲令和元年度「統計の日」標語特選



統計調査は、「揺れる社会の揺るがぬ指標」と言われています。最も認知されている統計調査は「国勢調査」ですが、企業を対象に経済活動を探ったり、農林業の実態を把握したり、数多くの分野があります。

これらの調査結果は、普段取り立てて意識することは少ないものですが、わたしたちの身近なところで活用されています。

例えば、新聞やテレビなどでは、統計調査の結果やそれに基づく話題が、頻繁に取り上げられています。報道だけでなく、クイズ番組や地域特性を比較するバラエティなどで、基礎資料として活用されているのが統計調査です。

市でも、地域や社会の現状を把握したり、将来を予測するための基礎資料として、あらゆる施策や計画に

活用しています。

防災計画の策定では、災害時の被害予測の基礎資料として、国勢調査の結果を用いています。これまで経験した大きな災害の度、災害統計がまとめられ、その結果から必要な備蓄食料や防災資機材を整備するなど、いざというときに備えた防災対策が考えられているのです。

同様に、社会福祉や雇用対策、まちづくりの指針など多くの分野で調査結果が活用されています。

また、昨今「データ」の重要性が高まるなかで、民間企業や学術研究でも、その存在が注目されてきました。調査資料を複数組み合わせるこ

とによって、これまでにない意外なサービス・商品が生まれるなど、統計に未知の可能性が秘められていると期待されています。

このように、統計は社会を正確に表し、わたしたちの暮らしをより良くするための方向性を見極める基礎として、重要な役割を果たします。

より正確な結果を得るためには、調査への協力が欠かせません。調査により対象は異なりますが、統計調査員が訪問した際は、協力をお願いします。

社会を知るデータの収集 統計調査員の活動

「統計調査員」は、実際に調査対象を訪問し、調査票の配布や回収などの事務を行う非常勤の公務員です。調査期間に応じて、国や県が任命しています。

調査の種類によって、調査対象は一般世帯や事業所などに変わります。最終的に、県や市へ提出するまでが統計調査員の作業です。その後、国の基準に基づ

統計調査員の活動内容

- ① 調査員説明会への出席
- ② 調査準備(地域、対象の確認など)
- ③ 調査票の配布と記入依頼、回収
- ④ 提出書類の整理
- ⑤ 県や市への提出

あなたも参加しませんか

統計調査の期間は、短いもので1カ月、長いもので通年とさまざまです。すべての統計調査で、調査員が無理なく作業を行えるように、余裕を持ったスケジュールが組まれています。

そのため、専業主婦(夫)

いろいろあります！ 統計調査の一部をご紹介します

国勢調査

人口や世帯の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料となります。平成27年国勢調査では、市内で600人以上の統計調査員が活躍しました。

農林業センサス

農林業従事者を対象に農林業の実態を把握し、農林行政施策に役立てられます。市の調査対象数は県内2番目の多さです。(1番目は登米市)

経済センサス

産業分野最大の調査で、全産業分野における経済活動の実態を把握します。産業分野の事業所・企業を対象に従業者数や売上高を今年11月まで調査しています。

家計構造調査

国民生活の実態について総合的に把握します。一般世帯を対象に、家計や消費の実態を今年12月まで調査しています。

統計調査員に お話を聞きました



統計調査員
三上郁夫さん、小野美智子さん

統計調査は、わたしたちの生活実態、生の声を国や行政に届けるために、とても重要なものです。

例えば、最低賃金や年金の額は、統計調査によって

給与状況や生活水準などが分かなければ決定できません。生活を改善し、実態にあった政策を国が進めるためには、統計によるデータが必要不可欠なのです。

統計調査員は、地域を足で歩く地道な仕事でもあります。わたしたち調査員の活動が、行政の仲立ちとして社会の役に立っていることに、確かな誇りを感じます。

あなたも統計調査員として活躍してみませんか。